

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成29年4月27日(2017.4.27)

【公開番号】特開2015-125936(P2015-125936A)

【公開日】平成27年7月6日(2015.7.6)

【年通号数】公開・登録公報2015-043

【出願番号】特願2013-270489(P2013-270489)

【国際特許分類】

H 01 H	1/04	(2006.01)
H 01 H	1/023	(2006.01)
H 01 H	11/04	(2006.01)
C 22 C	5/06	(2006.01)
C 22 C	1/04	(2006.01)

【F I】

H 01 H	1/04	A
H 01 H	1/02	A
H 01 H	11/04	E
H 01 H	11/04	D
C 22 C	5/06	C
C 22 C	1/04	P
H 01 H	1/02	B

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月21日(2017.3.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

S nが3～10質量%、I nが1～10質量%、残部がAgからなり、S nおよびI nが酸化物としてAgに含まれるAg-酸化物系合金の接点と、Niが0.1～20質量%、Wおよび/もしくはWCが1～30質量%、残部がAgからなるAg合金の接点とを相対向に配置したことを特徴とする電気接点。

【請求項2】

S nが3～10質量%、I nが1～10質量%、Niが0.1～0.3質量%、残部がAgからなり、S n、I nおよびNiが酸化物としてAgに含まれるAg-酸化物系合金の接点と、Niが0.1～20質量%、Wおよび/もしくはWCが1～30質量%、残部がAgからなるAg合金の接点とを相対向に配置したことを特徴とする電気接点。

【請求項3】

S nが3～10質量%、I nが1～10質量%、残部がAgからなり、S nおよびI nが酸化物としてAgに含まれるAg-酸化物系合金の接点と、Niが0.1～20質量%、Wおよび/もしくはWCが1～30質量%、Grが1～30質量%、残部がAgからなるAg合金の接点とを相対向に配置したことを特徴とする電気接点。

【請求項4】

S nが3～10質量%、I nが1～10質量%、Niが0.1～0.3質量%、残部がAgからなり、S n、I nおよびNiが酸化物としてAgに含まれるAg-酸化物系合金の接点と、Niが0.1～20質量%、Wおよび/もしくはWCが1～30質量%、Gr

および / もしくは D L C が 1 ~ 3 0 質量 % 、残部が A g からなる A g 合金の接点とを相対向に配置したことを特徴とする電気接点。

【請求項 5】

Ag合金の接点が焼結体であることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 の何れか一項に記載の電気接点。

【請求項 6】

A g - 酸化物系合金の接点が内部酸化法を含む工程で製造され、Ag合金の接点が粉末焼結法を含む工程で製造されることを特徴とする、請求項 1 乃至請求項 4 の何れか一項に記載の電気接点の製造方法。